



岩手労働局発表
平成28年5月16日

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 小田 昭信
課長補佐 若月 敏幸
(電話) 019 - 604 - 3007

平成28年(4月まで)の労働災害発生状況を公表します。

～平成28年(4月まで)の死傷者数は、前年同期比5人(1.4%)減少～

～同死亡者数は、前年同期と同数～

岩手労働局(局長 久古谷 敏行)は、平成28年4月までの県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

平成28年4月までの死傷者数(4月末現在の速報値)は353人で、前年同期比で5人(1.4%)の減少となっています。また、死亡者数は6人となっており、前年同期と同数となっています。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

1 死傷災害(休業4日以上) 【表1】(P.3) 【グラフ1】(P.6) 【グラフ2】(P.7)

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は353人で、前年同期比で5人(1.4%)減少となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は、「商業」55人(前年同期比+14人、+34.1%)、「農林業」21人(同+5人、+31.3%)、「建設業」65人(同+4人、+6.6%)、「接客娯楽業」23人(同+1人、+4.5%)、「保健衛生業」28人(同+1人、+3.7%)などとなっています。

前年同期比で減少した業種は、「運輸交通業」33人(同-15人、-31.3%)、「製造業」78人(同-8人、-9.3%)、「畜産水産業」12人(同-3人、-20.0%)、「その他業種」27人(同-2人、-6.9%)、「通信業」8人(同-1人、-11.1%)などとなっています。

なお、「ビルメンテナンス業」以外の「その他業種」の主な業種は、「教育研究業」、「清掃業」、「警備業」です。

(3) 事故の型別の状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、119人(33.7%)となっています。次いで、「墜落・転落」で67人(19.0%)、「はさまれ、巻き込まれ」で37人(10.5%)の順となっています。

2 死亡災害 【表2】(P.4) 【表3】(P.5)

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は6人で、前年同期と同数となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では、「製造業」で2人、「建設業」で1人、「林業」で1人、「商業」で1人などとなっています。

【表1】 平成28年 1月～4月 労働災害発生状況（休業4日以上之死傷者数）

岩手労働局

3

業種		岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
		28年	27年	増減数	増減率								
製造業	食料品	6	6 (1)		0.0%		3				2	1	
	上記以外の食料品	26	32	-6	-18.8%	13		1	8	1	1	2	
	繊維・衣服その他繊維製品	1	1		0.0%	1							
	木材・木製品、家具・装備品	10	10		0.0%	1	4	1	1	1		2	
	パルプ・紙、印刷・製本	1	1		0.0%				1				
	化学工業	5	5		0.0%				2	2	1		
	窯業土石製品	4 (1)	6	-2	-33.3%			1	1	2			
	鉄鋼業、非鉄金属	1	1		0.0%				1				
	金属製品	12 (1)	6	6	100.0%			2	7	3			
	一般機械器具	1	5	-4	-80.0%				1				
	電気機械器具	2	6	-4	-66.7%	1			1				
	輸送用機械製造	6	2	4	200.0%	1		1	4				
	電気・ガス												
	その他の製造業	3	5	-2	-40.0%	1			1	1			
小計	78 (2)	86 (1)	-8	-9.3%	18	7	6	28	10	4	5		
鉱業	3	3		0.0%		1		1		1			
建設業	土木工事	22 (5)	20 (1)	2	10.0%	10	6		3	2		1	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	4	4		0.0%			2	1			1
		木造家屋	26	15	11	73.3%	7	2	1	4	1	7	4
		その他の建築工事	4	13	-9	-69.2%	1		1	2			
	その他の建設	9 (1)	9		0.0%	5					3	1	
小計	65 (6)	61 (1)	4	6.6%	23	8	4	10	3	10	7		
運輸交通業	道路貨物運送業	30	43 (4)	-13	-30.2%	13	2		7	3	1	4	
	その他の運輸交通業	3	5	-2	-40.0%	2			1				
貨物取扱		1	-1	-100.0%									
農林業	農業	4		4				1	1	1		1	
	林業	17	16	1	6.3%	4	2		2	2	1	6	
畜産水産業	畜産業	10	11	-1	-9.1%	5			2		1	2	
	水産業	2	4	-2	-50.0%							2	
商業	小売業	47 (6)	34 (6)	13	38.2%	21	3	2	13	4	2	2	
	その他の商業	8	7 (2)	1	14.3%	3	1		3		1		
通信業		8 (2)	9 (3)	-1	-11.1%	4		1		2	1		
保健衛生業	社会福祉施設	20 (1)	19	1	5.3%	6	1	2	5	3		3	
	その他の保健衛生業	8	8		0.0%	4			3			1	
接客娯楽業	旅館業	9	7 (1)	2	28.6%	4	1		3	1			
	飲食店	7	9	-2	-22.2%	4				2	1		
	その他の接客娯楽業	7	6	1	16.7%	5			1			1	
その他	ビルメンテナンス業	5	5		0.0%	3				2			
	その他（上記以外の業種）	22 (1)	24 (6)	-2	-8.3%	7	1	1	4	5		4	
合計	353 (18)	358 (24)	-5	-1.4%	126	27	17	84	38	23	38		
(注) 平成28年 4月末の速報値である。					前年同期	117	22	26	79	48	29	37	
数字は死亡者数（内数）、（ ）数字は交通労働災害（内数）である。					増減数	9	5	-9	5	-10	-6	1	
					増減率	7.7%	22.7%	-34.6%	6.3%	-20.8%	-20.7%	2.7%	

【表2】

平成28年 死亡災害発生状況（4月30日 現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	二戸	商業 (燃料小売業)	1月	日	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	破裂	トラック	ガソリンスタンドでダンプトラックにタイヤを取り付ける作業中、タイヤのチューブが破裂、サイドリングが吹き飛び、被災者の頭部に激突した。	
2	一関	製造業 (その他の製造業-その他)	2月	水	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	コンベヤー	チップふるい機の始業前点検中、ベルトコンベヤーのテールローラー部に巻き込まれた。	
3	大船渡	建設業 (木造家屋建築工事業)	2月	水	男	70歳代 (50年以上 60年未満)	墜落、転落	作業床、 歩み板	資材を覆うブルーシートをロープで縛る作業をしていたところ、よろけて敷地端部の土止擁壁から足を踏み外し、約1.8m下の道路に墜落、アスファルト路面に頭を打った。搬送先の病院で2週間後に死亡した。	
4	二戸	農林業 (木材伐出業)	3月	水	男	60歳代 (30年以上 40年未満)	激突され	伐木等機械	民有林の皆伐作業現場で、原木(長さ約14m、末口直径約15cm)を移動させるため、グラップル機で原木を掴んで旋回させたところ、歩いていた被災者の頭部に原木の末口が激突した。	
5	釜石	製造業 (その他の金属製品製造業)	3月	金	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	掘削用機械	作業中のドラグ・ショベルの脇で鉄柵を番線で結束する作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルが旋回し、ドラグショベルの上部旋回体と鉄柵の間に挟まれた。	
6	二戸	農林業 (農業)	4月	木	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	飛来、落下	立木等	事業場の敷地内において、木の伐採作業中、地上4mの高さに切れ目を入れた状態で伐倒方向を選定していたところ、伐倒木(長さ16m、胸高直径29cm)が倒れてきた。	

【表3】

平成28年 死亡災害発生状況 (事故の型別等)

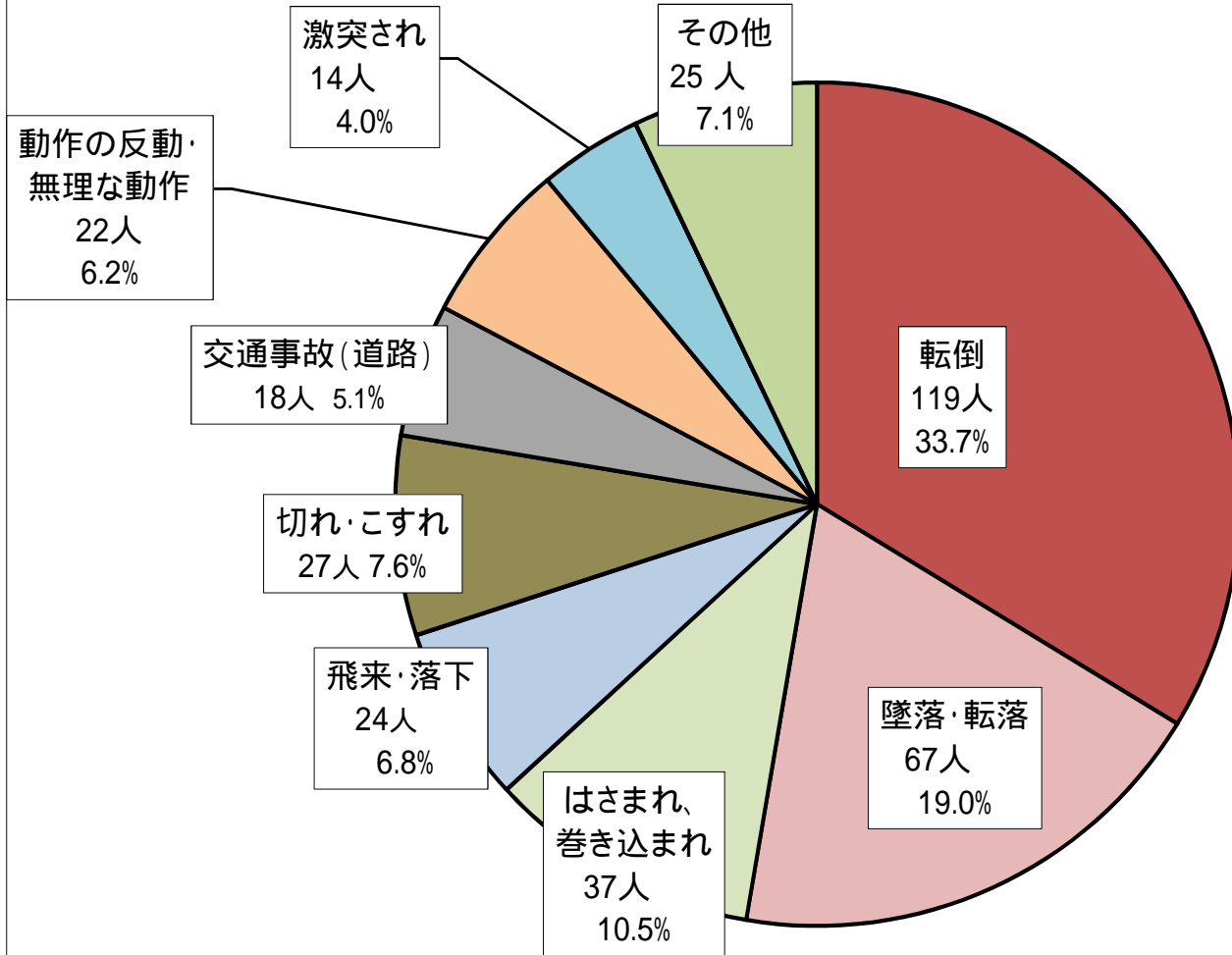
平成28年4月30日 現在

業種別	製造業 2人 (0人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 1人 (4人)	運輸業 0人 (1人)	林業 1人 (0人)	商業 1人 (1人)	左記以外 1人 (0人)	6人 (前年同期6人)
	盛岡 0人 (1人)	宮古 0人 (1人)	釜石 1人 (1人)	花巻 0人 (1人)	一関 1人 (2人)	大船渡 1人 (0人)	二戸 3人 (0人)	
事故の型別	墜落・転落 1人 (0人)	転倒 0人 (0人)	飛来・落下 1人 (0人)	崩壊・倒壊 0人 (2人)	激突され 1人 (0人)	はさまれ・巻き込まれ 2人 (0人)	切れ・こすれ 0人 (0人)	
	破裂 1人 (0人)	高温の物との接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物等との接触 0人 (1人)	交通事故 0人 (2人)	その他 0人 (1人)	

注：()内は前年同期

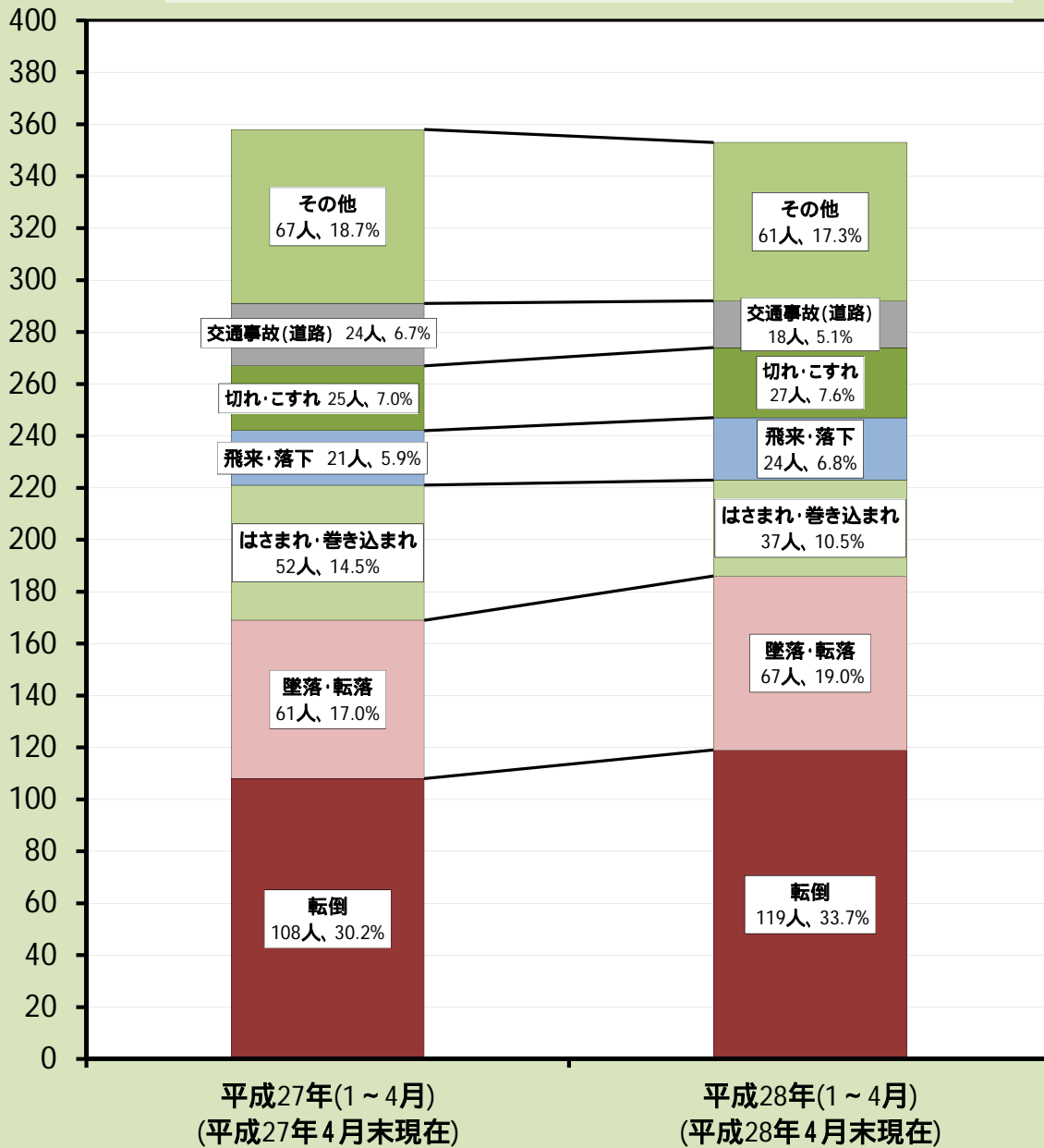
〔グラフ1〕 平成28年(1~4)月 労働災害発生状況 (事故の型別)

岩手労働局



平成28年4月末の速報値である。
数字は死亡者数(内数)である。

事故の型別労働災害発生状況



【参考】

平成28年

月別労働災害発生状況

(休業4日以上 の 死傷者数)

岩手労働局

業 種		28年1～4月	27年1～4月	増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	水産食料品	6	6	0	0.0%	3	1	1	1									
	食料品	26	32	-6	-18.8%	7	5	9	5									
	上記以外の食料品	1	1	0	0.0%	1												
	繊維・衣服その他繊維製品	10	10	0	0.0%	5	1	2	2									
	木材・木製品、家具・装備品	1	1	0	0.0%			1										
	化学工業	5	5	0	0.0%	2	1		2									
	窯業土石製品	4	6	-2	-33.3%	1	2	1										
	鉄鋼業、非鉄金属	1	1	0	0.0%				1									
	金属製品	12	6	6	100.0%	7	3	2										
	一般機械器具	1	5	-4	-80.0%			1										
	電気機械器具	2	6	-4	-66.7%	2												
	輸送用機械製造	6	2	4	200.0%		3	2	1									
	電気・ガス			0														
その他の製造業	3	5	-2	-40.0%	1	1		1										
小計		78	86	-8	-9.3%	29	17	19	13									
鉱業		3	3	0	0.0%	1	2											
建設業	土木工事	22	20	2	10.0%	11	6	3	2									
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	4	4	0	0.0%	2	2										
		木造家屋	26	15	11	73.3%	8	6	8	4								
		その他の建築工事	4	13	-9	-69.2%		1	2	1								
	その他の建設	9	9	0	0.0%	3	4	2										
小計		65	61	4	6.6%	24	19	15	7									
運輸交通業	道路貨物運送業	30	43	-13	-30.2%	13	3	10	4									
	その他の運輸交通業	3	5	-2	-40.0%	1	1	1										
貨物取扱			1	-1	-100.0%													
農林業	農業	4		4				3	1									
	林業	17	16	1	6.3%		7	6	4									
畜産水産業	畜産業	10	11	-1	-9.1%		3	4	3									
	水産業	2	4	-2	-50.0%	2												
商業	小売業	47	34	13	38.2%	20	11	12	4									
	その他の商業	8	7	1	14.3%	3	2	1	2									
通信業		8	9	-1	-11.1%	1	4	2	1									
保健衛生業	社会福祉施設	20	19	1	5.3%	8	7	2	3									
	その他の保健衛生業	8	8	0	0.0%	7	1											
接客娯楽業	旅館業	9	7	2	28.6%	4	2	3										
	飲食店	7	9	-2	-22.2%	2	2	3										
	その他の接客娯楽業	7	6	1	16.7%	2	3	2										
その他	ビルメンテナンス業	5	5	0	0.0%	3		1	1									
	その他(上記以外の業種)	22	24	-2	-8.3%	11	8	3										
合計		353	358	-5	-1.4%	131	92	87	43									

(注)平成28年4月末の速報値である。

数字は死亡者数(内数)である。